

# 伊予市図書館、文化ホール等管理運営計画策定支援業務 プロポーザル審査委員会講評

## 1 はじめに

伊予市は、「参画と協働の郷（くに）づくり」を掲げており、未来を担う子どもたちから高齢者までの市民一人ひとりが自発的に参画し、協働による豊かなまちづくりを目指しています。特に子どもたちには、芸術文化、生涯学習の発展に資するため、幼い頃から参画する機会を与えることが必要であると考えます。

伊予市図書館、文化ホール等管理運営計画は、「伊予市図書館・文化ホール等建設基本計画」に掲げる基本理念『学び はぐくみ つながる 出会いの広場』に基づき、施設の役割や望ましい姿を見据え、管理運営における重要な視点と基本的な考え方を明確にするために策定するものです。

管理運営計画の具現化を図るため、当審査委員会は策定支援を委託するのにふさわしい事業者を特定するために、本プロポーザルを実施することとしました。

## 2 審査の概要

本プロポーザルを実施するにあたり、業者から提出された企画提案書等を審査し、業者を特定する、伊予市図書館、文化ホール等管理運営計画策定支援業務プロポーザル審査委員会を計3回開催し、厳正な審査を実施しました。

## 3 審査講評

本プロポーザルに対し、全国から5社の応募があり、企画提案、業務体制、業務実績等のヒアリングを経て、本業務に最も適切な企画提案書を特定しました。

(1) 最も高い評価を得た提案者は、次のような点で、高評価を得ました。

- ・ 基本理念『学び はぐくみ つながる 出会いの広場』の実現に向けて、豊富な業務実績に裏付けされた具体的で分かりやすく、説得力のある提案である。また、業務実施体制もしっかりとしている。
- ・ 複合施設が持つ課題を明確にし、その解決のために効率的且つ真摯に対処することにより、課題を利点に変えようとする積極的な姿勢が見受けられる。
- ・ 管理運営検討委員会及び計画検討の進め方にも具体的で的確な提案がなされており、円滑な事業実施が期待できる。

(2) 本提案は、以下の点で、改善の余地も見受けられました。これらは、今後の課題とします。

- ・ 提案者の強みである文化ホールを中心とした提案は魅力的であるが、市民の日常的な活動が展開する図書館及び公民館の運営に関して課題が残る。
- ・ ヒアリング調査により、市民の声を丁寧に汲み取ろうとする基本的態度は評価できるが、市民の参画と協働による施設づくり及び運営についての提案が少なく、運営を支える人づくり、組織づくりに関して課題が残る。

本業務の特定者は、以上のような評価を経て、伊予市図書館、文化ホール等管理運営計画の策定支援にふさわしい事業者と判断しました。

今後、市民との協働により、より良い施設となることを期待します。

平成26年6月24日

伊予市図書館、文化ホール等管理運営計画策定支援業務プロポーザル審査委員会

委員長	徳永高志	アートNPOカコア理事長
副委員長	郡司島宏美	愛媛大学ダイバーシティ推進本部女性未来育成センター特命准教授
委員	山先森繁	伊予市副市長
委員	渡邊博隆	伊予市教育委員会教育長
委員	井上伸弥	伊予市総務部長
委員	田中浩	伊予市教育委員会事務局長